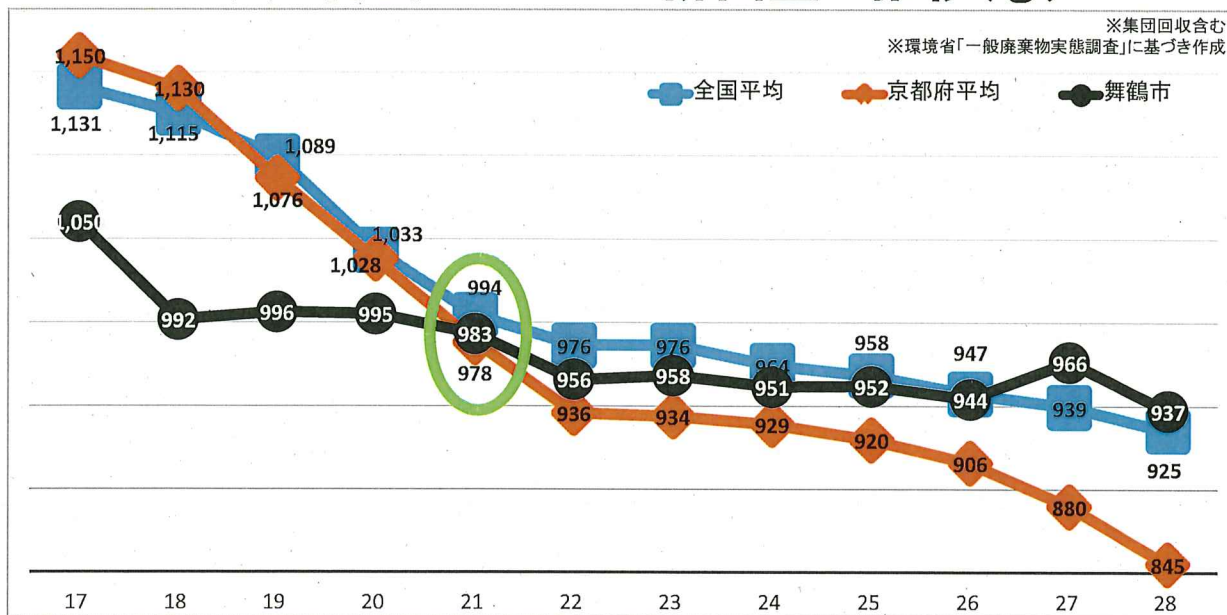


舞鶴市のごみの状況について

舞鶴市のごみの状況について

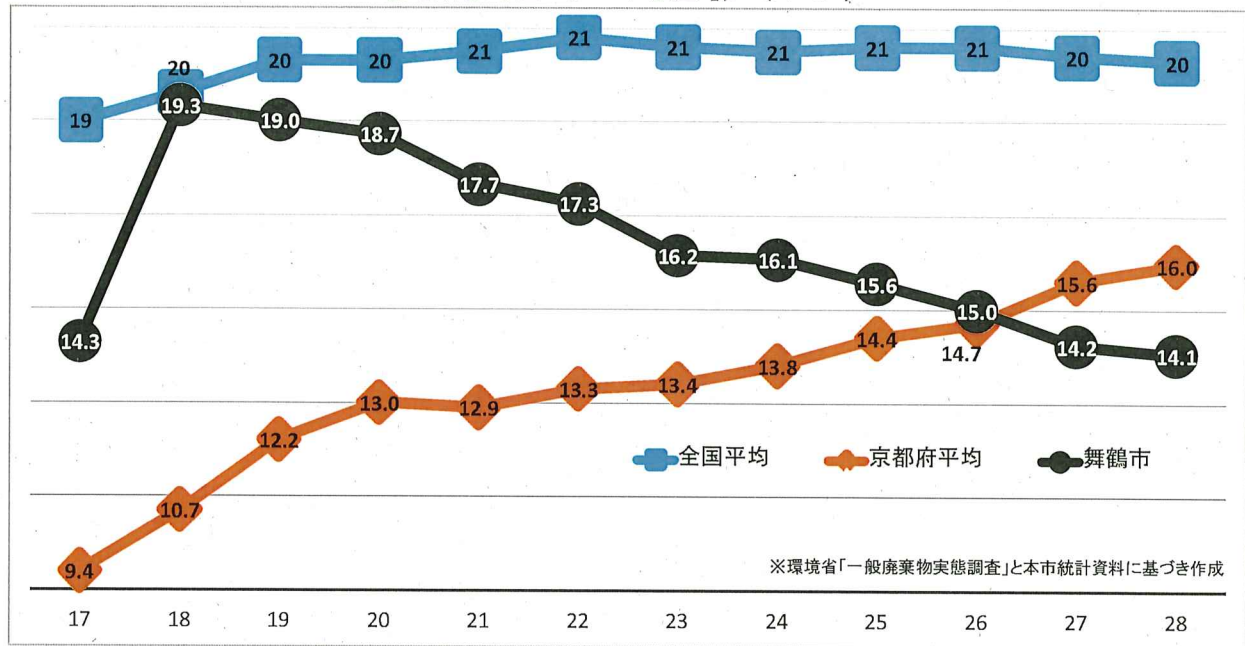
1人1日当たりのごみ排出量の推移(g)



- 可燃ごみを有料化した平成17年時点では全国平均・京都府平均より排出量は少ない。
- 平成21年度には京都府平均を上回り、平成27年には全国平均を上回る。
- 京都府平均と市平均が最も近かった平成21年度と平成28年度を比較すると、全国平均では約7%の削減、京都府平均では約14%の削減、一方、舞鶴市は約5%の削減となっており、有料化後のごみ排出量の削減は鈍化し、現在では京都府平均より約10%多い。
- 京都府内15市中、排出量が少ないところから数えて本市は13番目(平成28年度)。

## 舞鶴市のごみの状況について

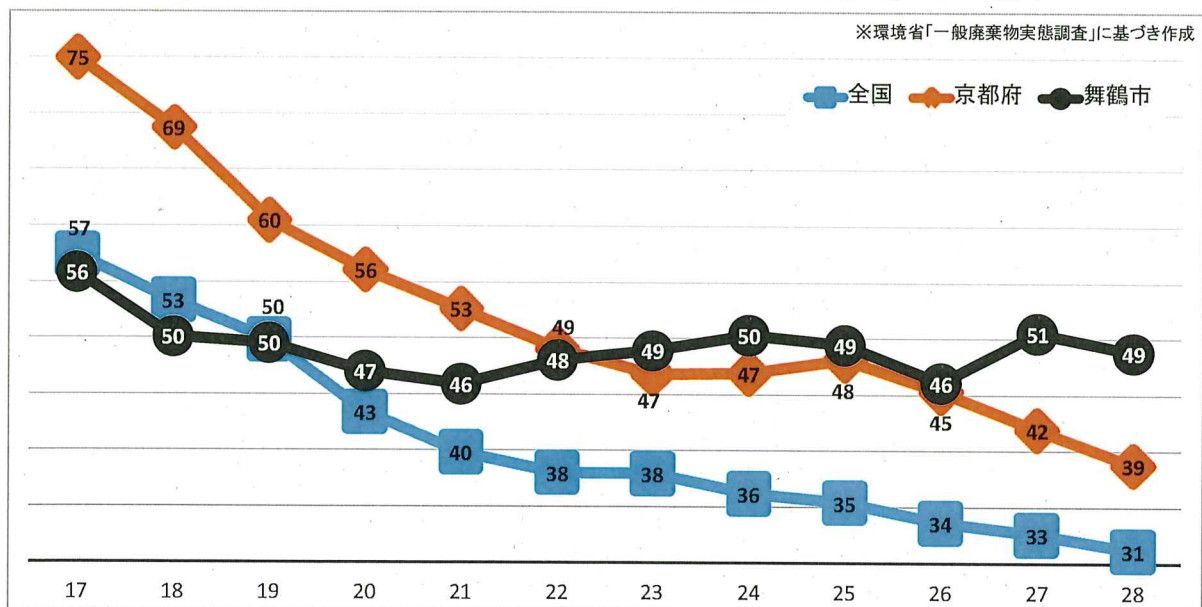
### 資源化率の推移(%)



- 可燃ごみ有料化翌年の平成18年年度は19.3%。以降、減少傾向に。
- 平成27年度には京都府平均を下回る。
- 京都府内15市中、リサイクル率が高いところから数えて本市は13番目(平成28年度)

## 舞鶴市のごみの状況について

### 1人あたり年間最終処分量の推移(kg)

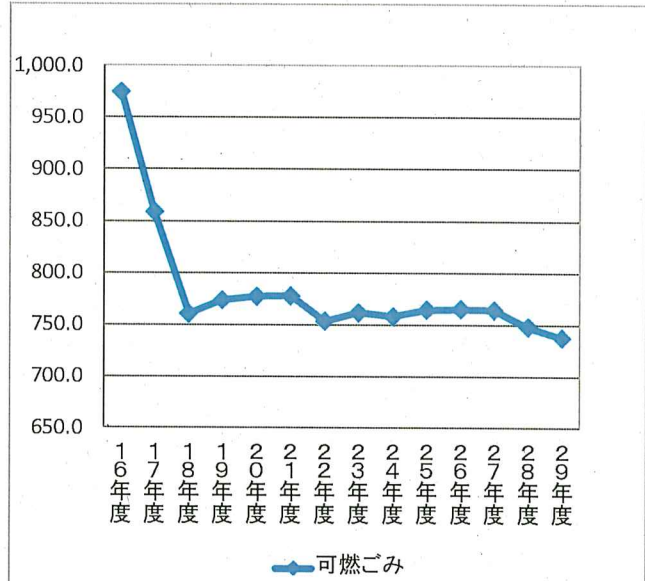
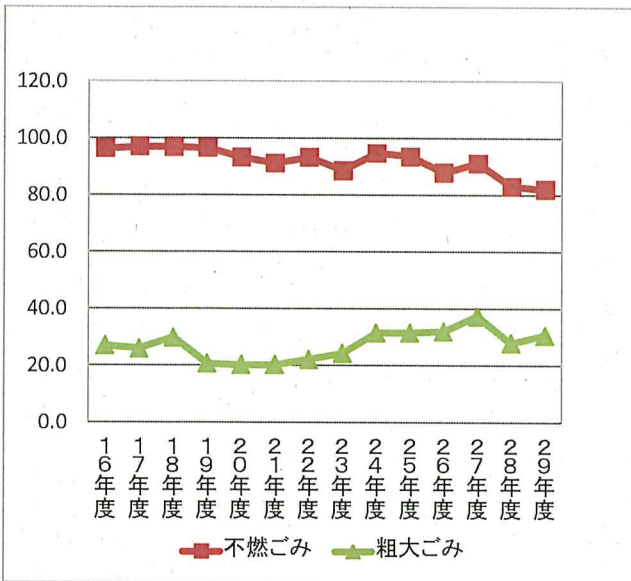


- 可燃ごみを有料化翌年の平成18年度以降、最終処分量は50kg前後で推移。
- 全国平均、京都府平均では最終処分量を大きく削減しており、平成18年度と平成28年度を比較すると、全国平均では42%、京都府平均では43%を削減している。
- 平成28年度は、京都府内15市中、1人あたり最終処分量が少ないところから数えて本市は12番目。舞鶴市は京都府平均より25%多い。



# 舞鶴市のごみの状況について

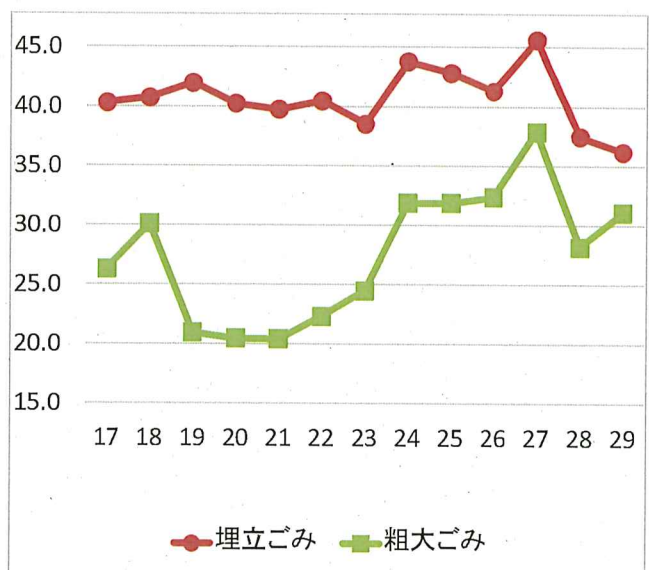
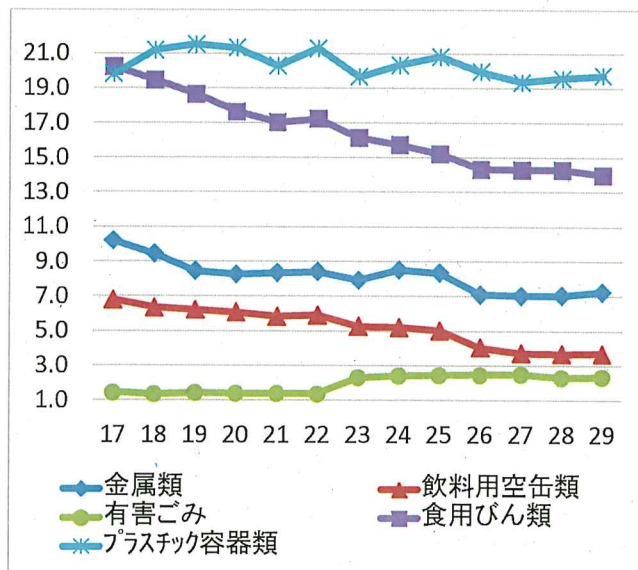
## 1人1日あたりごみ排出量(可燃・不燃)の推移(g)



- 可燃ごみについては、有料化により減少したが、平成18年度以降の減少は緩やか。
- 不燃ごみについては緩やかに減少している。一方、粗大ごみは増加傾向にある。

# 舞鶴市のごみの状況について

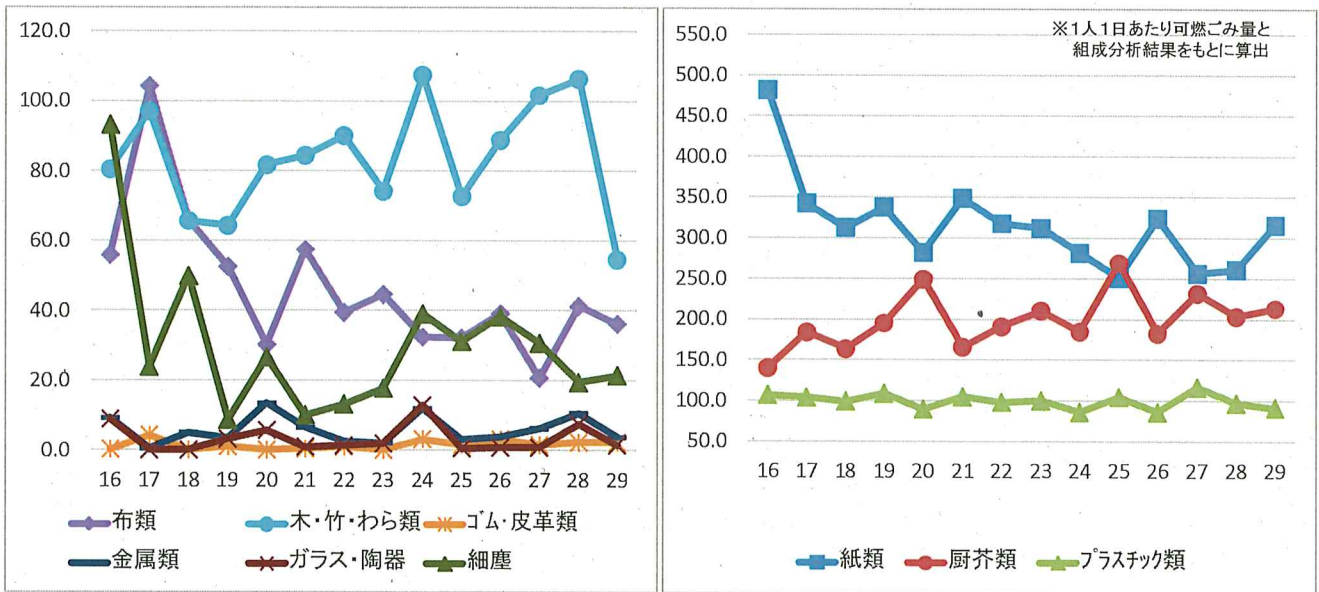
## 1人1日あたり不燃ごみ排出量の推移(g)



- 金属類、缶類、ビン類については顕著に減少傾向にある。プラスチックごみ、有害ごみは横ばい。
- 粗大ごみは顕著に増加。埋立ごみについては増減はあるが減少傾向にある。

# 舞鶴市のごみの状況について

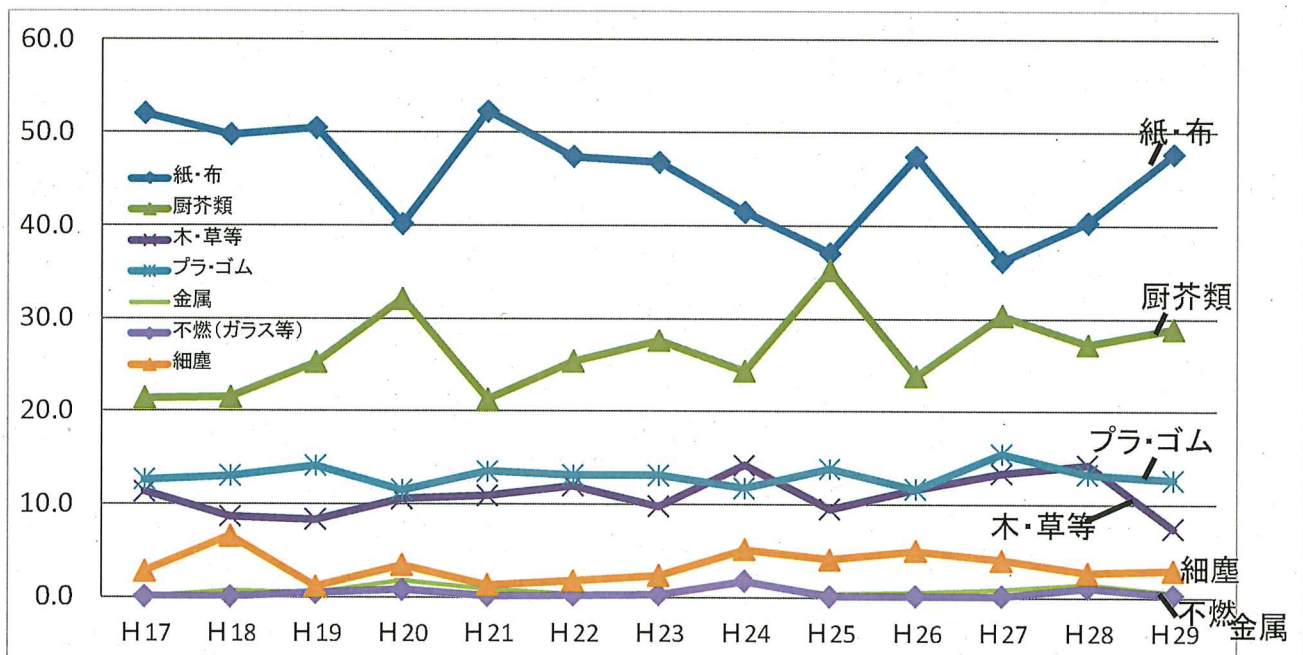
## 1人1日あたり可燃ごみ排出量内訳の推移(g)



- 平成17年度の可燃ごみ有料化時と平成29年度を比較すると可燃ごみは約24%程度減少している。
- 紙・布類については減少傾向が見られたが、平成27年度以降は増加傾向にある。
- 厨芥類の割合は増加傾向にあり、プラスチック類は横ばい。

# 舞鶴市のごみの状況について

## 可燃ごみ組成の推移(%)

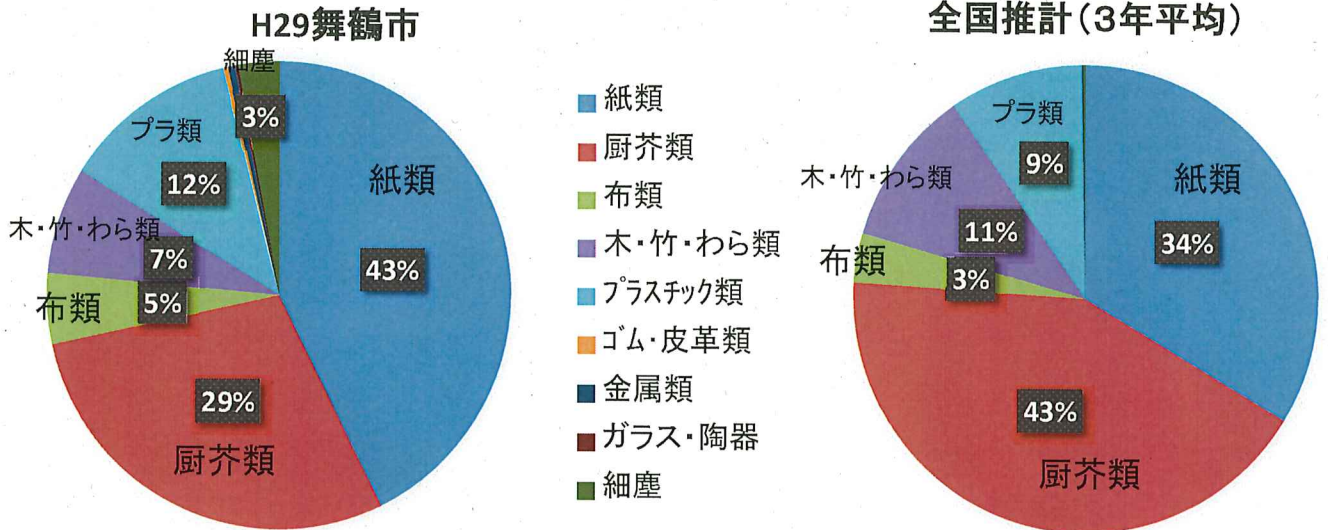


- 有料化以降、紙・布類については、減少傾向が見られたが、平成27年度以降は増加傾向。
- 厨芥類の割合はゆるやかに増加傾向。プラ・ゴム類、木・草類は増減はあるが横ばい。



# 舞鶴市のごみの状況について

## 1人1日あたり可燃ごみ排出量内訳の推移(g)



- 平成28年度の紙類は過去と比較して割合が大きいが、この10年は概ね40%前後を推移。本市の可燃ごみに占める紙類の割合は全国平均よりも高いものと推測される。
- 厨芥類については、1人1日あたり排出量は増加傾向にあるが、割合は低い。
- プラスチック類はこの10年は12%前後を推移しており、全国平均の9%よりも高い。